

■山本北山 儒学者。“寛政の五鬼”。門下から市河寛斎や大窪詩仏・中井董堂らが出て、時代の詩風を一変させた。

やまもとほくざん

・ ・ ・ ・ ・ 1752 = 江戸で、代々幕臣の家に生まれる。

早く父に別れて母の手で育てられ、幼年時代より傑出。

大岡忠光没・1760 = 8歳 :

・ ・ ・ ・ ・ 1761 = 9歳 :

忠臣蔵大当り1766 = 14歳 : 山崎桃溪について素読を学んだが、その後は常師なく、古人は学問を始めるのに師承はなかったと考えて、家が富んでいるのを幸いに、書物を買うように購入して、漢儒の訓詁も、宋儒の性理も勉強しながら、伊藤仁斎の古義学も荻生祖侠の古文辞学も修めた。後には井上金峨に師事して折衷学に専心したので、学業は着々と進んで、**儒者となり**、

・ ・ ・ ・ ・ 1770 = 18歳 :

田沼意次老中1772 = 20歳 :

大原騒動・ ・ 1773 = 21歳 : *「孝経集覽」を著わして著名になった。

蓋し「孝経」を経学の根拠とし、文は古文辞学派のような出典のある古語を多く用いることに反対して、韓柳の平淡な文を用い、詩は唐人よりも宋人の思惟的な清新とも称すべきものを宗とした。当時古文辞一派の風に懐らず、そのため徂徠の尊敬してきた、かの李王のような人々を排撃した。

源内獄中死・1779 = 27歳 : 「作文志こう」刊。

天明大飢饉始1782 = 30歳 : 「文藻行潦」刊。

蘭学階梯・ ・ 1783 = 31歳 : 「作詩志こう」刊。

性格の強い人で、人には屈せず、人の下に立つことを欲しないような気概のある人なので、官職につき給料を貰うことを恥じて、終世仕官しなかった。ただ秋田の佐竹侯や高田の榊原侯の相談にのったりしたことはある。またその性格には、古の侠客風な所もあり、自らも儒中の侠と称し、儒裏侠の印も作っていた。

田沼意次失脚1786 = 34歳 :

・ ・ ・ ・ ・ 1788 = 36歳 :

異学の禁・ ・ 1790 = 38歳 : *幕府は、朱子学以外は異端の学として排斥した。その時北山は、亀田鵬斎・豊島豊洲・家田大峰・市川鶴鳴と共に、自説を主張して動かなかった。それで世間では五鬼と名づけた。

松平定信引退1793 = 41歳 :

プロト到来航・1796 = 44歳 : 「孝経楼漫録」刊。

昌平饗始・ ・ 1797 = 45歳 : 「経義揆説」刊。

伊能測量始・1800 = 48歳 : 蒲生君平が京都から江戸に帰ってきた時、困窮の極にあり、乞食のような姿で北山の所に来た。それを見て涙を浮かべ幾両かの金を贈った。君平は辞退したが、'遊学して故郷に帰ろうとする時、そのような姿では、親の心は慰まないだろう'と言ったという。

いざ乃来航・1804 = 52歳 : 「笑堂福聚」刊。

いざ乃報復・1806 = 54歳 : *詩社{竹堤吟社}を開き、性霊説を主張し、門下から市河寛斎や大窪詩仏・中井董堂らが出て、時代の詩風を一変させて、

高田屋拿捕・1812 = 60歳 : **没した。**

ほかに「孝経楼詩話」「三余漫録」「勸学治体」「古文尚書勤王師」「師藻行潦」「文用例証」など多数。